

F PROGRAM コンペティション

9/20 (祝日) 月
(開場 12:10) 12:30~
料金 (前売・当日) 1,500円
@北沢タウンホール

厳選された12作品を一挙上映!
全監督と審査員のトークセッションも開催!

【コンペティション審査員】



行定 勲 (映画監督)

直井 卓俊
(企画・配給プロデューサー)

大槻 貴宏
(トリウッド代表・ポレポレ東中野支配人)

轟 夕起夫
(映画評論家)

第一部 (約72分)

浅いブルー (監督:中原健仁 / 22分38秒)



雪国に住む2人の若いカップル。大人にならないうちは不安を抱きながらも今を楽しんで生きていた。アキラはバイトを転々とする日々。自分には明確の自分がないことを認める。ある日突然に圧迫されていく。彼氏のジョウ、父のタケシにも依存していたと気づく。アキラは本当の自分を見つめ、何事にもならぬ自分と向き合っていく。

ROUTINE (監督:宮原拓也 / 20分50秒)



舞台で演じる俳優の生活。大人数で暮らす。恋人に愛を注ぎ出されてしまう。一方のミドリは、公園清掃20年。ひねくれた性格で、新たに清掃員としてきたタケシにも、いつもいびりつづける。ある時タケシが清掃員を辞意にシヤリシヤするのを目撃。清掃にその要領を活かせることに気づく。

MAHOROBA (監督:鈴木竜也 / 13分35秒)



歌舞伎町のバーで店長を務める自分が、永遠に続く休業期間を利用して知識ゼロから手描きアニメに挑戦した作品です。あらすじは「ブラック企業に勤める『僕』が、2020年の東京から脱出し、無人島に漂着するが...」というもの。

今日を眠る場所 (監督:吉本圭 / 15分10秒)



幸せっぽい家の生活が一変。ある日ケンに森に一人取り残されてしまう。生きてきた家族に会いたいという思いと森を登る。仲間、仲間たち(うさぎとメウ)の出会いを経て、過酷な環境の中でも強く生きていく。そして彼らの前にあらわれた一人の男性をきっかけに、物語は大きな転機を迎える。

第二部 (約77分)

Destiny (監督:松岡美乃梨 / 7分15秒)



誕生日も祝ってもらえないほど彼氏と疎遠になってしまっているユイ。そんな彼女に友人のアヤは当たることを評判の占い師を紹介する。その運命やいかに……。ステイホームで描かれたラブコメディ。

美しき町 (監督:小野寺成月 / 7分50秒)



主人公は森に落ちていた靴を発見したのをきっかけに、中学校の近くで起こった事件を思い出す。

Yokosuka1953 彼女の、記憶の中の母を探る旅 (監督:木川則志 / 59分25秒)



それはたった一本のフェイスブックメッセージから始まる。車庫裏駐車場の奥に外国の父と日本人の母の間に生まれた、大川洋子。最愛の母と離れて、1953年美子線路でアキラへと渡る。それから60年。母の音信を聞くことはなかった。同じ名字を持つ大川陽子と通ったメッセージ。記憶の中の母を探る旅が始まる。

スイソウ (監督:武田博 / 3分10秒)



最初はネット。そのうちテレビや広告にも出るようになった。それは終わらない映画みたいだった。ありとあらゆる日常が「こんな時」に支配されていく。

第三部 (約65分)

Blink in the Desert (監督:副島しのぶ / 10分34秒)



悪意は突然現れる。まるで開き出すかのように。羽ばたく羽虫のように気まぐれだ。着き砂漠の陽射し。ある日突然現れた羽虫を殺してしまふ。その姿をじっと見つめるソウ。その日から、少年は羽虫の影に追われていく。

ビート・パー・MIZU (監督:富田未来 / 27分24秒)



自主制作映画「空は青とは限らない」がマドリード国際映画祭に招待された新鋭・富田未来×主演作が相次ぐ女優・石川理華×とけた電球のロケハンパー。この世の全ての音が嫌いなヒロイン・関子の奔走を描く。ポップな恋愛悲喜劇。

滲み (監督:加藤也大 / 11分15秒)



夏のある日。幼馴染のマイとヒロキ。登校から始まる一日。ヒロキに対して伝えたいことがあるマイだったが、いつの間にか考えていなかった方向に一日は進んでしまふことになる。マイはヒロキに何を伝えるのか。

徒然甘々 (監督:大門嵩、祁答院雄貴 / 16分)



「うちのお兄ちゃん。絶対結婚出来ないと思うよ。」実家に向かう車中。カネにそう言われるが自信満々に大丈夫と約束する婚約者のノボル。しかし、実家にいた兄セイトロウは想像以上の無口で、その上いきなりカネと喧嘩をし出す。

第12回ノミネート作品一挙上映

9/13月・15水・16木・17金 各回 18:30~

料金(各回) 1,000円 @トリウッド

昨年の第12回コンペティションにてオンライン配信された全10作品をトリウッドにて上映。三島有紀子監督ほか審査員がグランプリに選んだ青春映画「杭を打て」など、多彩なジャンルの作品をお楽しみください。

※各回2~3作品上映の予定です。タイムテーブルは映画会公式サイトをご確認ください。

★グランプリ受賞作品

●杭を打て
(監督:村上創紀)

★準グランプリ受賞作品

●蝸牛
(監督:都篠陽)

●愛をたむけるよ
(監督:団琢磨)

●curfew
(監督:無し 制作代表:諫早幸作)

- 形をとって (監督:宮崎衛里愛)
- 覚めぬ夢などあるじやなし (監督:目黒大輔)
- SHADE (監督:野口高遠)
- ストレスフルスイング (監督:山村もみ夫)
- 多日想果 (監督:大門嵩)
- ナイトライダー (監督:佐藤安樹)

東放学園映画専門学校	NICE GUY
CyberLink	オリジナルでシヤク製作工房
コンペティションノミネート監督全員にPowerDirectorの最新バージョンを贈呈いたします。	steal factory 03-3485-1150 info@steal-factory.com 営業時間 / 11:00~20:00 (第三月曜日除く)

主催:下北沢映画祭実行委員会 / 後援:世田谷区、下北沢商店連合会(下北沢一番街商店街振興組合・下北沢南口商店街振興組合・しもきた商店街振興組合・下北沢あずま通商店街・代沢通り共栄会・下北沢南口ビュロード観光商店会)、北沢二丁目協和会、北沢二丁目南町会 / 協賛:東放学園映画専門学校、株式会社NICE GUY、Cyber Link、steal factory / 協力:下北沢トリウッド、下北線路街 空き地

チケットはPassMarketにて8月下旬より発売予定!

イベントに関する
詳細等は
公式サイトを
ご覧ください



(各種SNSも更新中!
「下北沢映画祭」で検索!)



お問い合わせ info@shimokitafilm.com

※登壇ゲストなど、各プログラム内容には変更が生じる場合がございます。予めご了承ください。

13th SHIMOKITAZAWA FILM FESTIVAL

下北沢映画祭

第13回

2021 9.18 SAT ▶ 9.20 MON

映画を通してつながり、広がる

下北沢で多彩な才能に出会う3日間

映画を通してつながり、広がる 下北沢で多彩な才能に出会う3日間

「映画を観る」「映画を届ける」場所であること。第13回下北沢映画祭は改めて原点に立ち返り、映画作品を通して他者と対話をする映画鑑賞の醍醐味をお届けします。多様な文化が交わる下北沢という街で、新たな才能と作品、そして観客のみなさまと共に過ごすひとときをお楽しみください。

海外進出記念！ ドロステのはてで僕ら 舞台挨拶

9/18(土) (開場 14:00) 14:20~
料金 (前売・当日) 1,500円
@北沢タウンホール

ゲスト 土佐和成(主演)、中川晴樹(出演)、山口淳太(監督)

2分後の未来が見える「タイムテレビ」を巡る騒動を描いた人気劇団ヨーロッパ企画初のオリジナル長編映画「ドロステのはてで僕ら」。現在、このエクストリーム時間SFが海を超えて、ヨーロッパやアジアなど海外映画祭で受賞ラッシュ！北米での劇場公開が決定！この度、海外進出を記念した特別上映と、主演の土佐和成さん、中川晴樹さん、山口淳太監督をお迎えし、昨年国内での公開中は行えなかった「リアル舞台挨拶」が実現。ぜひみなで受賞をお祝いしましょう！

海外映画祭で受賞ラッシュ！
北米での劇場公開も決定！



©ヨーロッパ企画/トリウッド2020

大野大輔監督 最新作 辻占恋慕 ワールドプレミア

9/18(土) (開場 16:45) 17:05~
料金 (前売・当日) 1,800円
@北沢タウンホール

ゲスト 早織(主演)、大野大輔(脚本・監督・主演)

TAMA NEW WAVEでグランプリ他3冠に輝いた傑作「ウルフなシシー」やYouTubeドラマから発展した人気作「アストラル・アブノーマル鈴木さん」など、不器用で一筋縄ではないキャラクターたちの日常と「ジワる」人間臭さを照射し、心に刺さる台詞の数々と骨太な構成でファンを獲得し続けている鬼才・大野大輔監督が描く、変わりゆく時代を生きる「持たざる者」たちのほろ苦い青春ラブソディ。下北沢GARAGEでも撮影が敢行された話題作を、世界初上映!!



©2021 E&E

新世代の日本映画たち 眠る虫 × 魚座どうし

9/19(日) (開場 10:10) 10:30~
料金 (前売・当日) 1,800円
@北沢タウンホール

ゲスト 金子由里奈(脚本・監督)、山中瑠子(脚本・監督)

第11回下北沢映画祭参加作品「そんなこと考えるの馬鹿」(田村将章監督)への出演や音楽活動も行うなどマルチな活躍を続ける金子由里奈監督による、MOOSIC LAB 2019グランプリ作品「眠る虫」。「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト2019」にて製作され瞬く間にセンセーションを巻き起こした、「あみこ」(第9回下北沢映画祭グランプリ)の山中瑠子監督による短編「魚座どうし」。プライベートでも親交があり、お互いに自主配給も経験するなど新たな映画づくりを模索している、気鋭の映画作家二人による鮮烈な二本立て。

下北沢映画祭が注目する若手監督による新作
初の二本立て上映!



金子由里奈監督作品「眠る虫」

©filmmemuru.2019



山中瑠子監督作品「魚座どうし」

©2020 VJPO

TIME TABLE	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
9/18(土)	北沢タウンホール						A プログラム			B プログラム		
	下北線路街 空き地									アニメーション野外上映会		
9/19(日)	北沢タウンホール		C プログラム			D プログラム		E プログラム				
9/20(月)	北沢タウンホール						F プログラム					

※開場からイベント開始までの時間は含まれておりません。※開始時刻、終了予定時刻は当日の状況により変更される場合があります。

ブルーレイ発売記念！ ざわざわ下北沢 が帰ってくる!

9/19(日) (開場 13:20) 13:40~
料金 (前売・当日) 1,500円
@北沢タウンホール

地域のフードロス地域に還元する「cobacoフードバンク」と連携し、タウンホールロビーにてフードドライブ(余剰食品の回収)を実施します。



世田谷区内に在住・在勤の方は 500円
※こちらの料金は当日券のみでのご案内となります。
※ご案内できるチケットの枚数には限りがございます。
※当日は世田谷区内在住・在勤を証明する書類をお持ちください。



市川準監督の名作「ざわざわ下北沢」がこの度リマスター版として蘇り、今年12月に待望のブルーレイ化！その発売を記念して、第2回(2010年)以来となる下北沢映画祭での招待上映が決定。[街の上で]から約20年…街と人々の生活を生き生きと描き世界的にも評価されてきた市川監督が原案から参加し、まだ南口や駅前の市場があった再開発前の下北沢を活写した本作。主演の原田芳雄さんがあずま通りを闊歩する冒険からグッときてしまいます。下北沢を愛する豪華俳優陣が多数ゲスト出演している点も見どころです。



©2000「ざわざわ下北沢」製作委員会

日本中を駆け巡った 街の上で 待望の凱旋上映

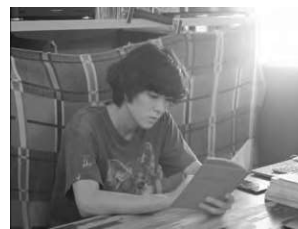
9/19(日) (開場 16:30) 16:50~
料金 (前売・当日) 1,800円
@北沢タウンホール

ゲスト 今泉力哉(脚本・監督)、若葉竜也(主演)

第11回下北沢映画祭にて世界初上映を行った映画「街の上で」。今泉力哉監督と大橋裕之さんによって紡がれたオリジナル脚本による、下北沢オールロケ作品。2020年春に予定されていた劇場公開は緊急事態宣言により約1年の延期となりましたが、今年4月に封切られるとロコミによる大ヒットを記録。この度、下北沢映画祭にて2年越しの凱旋上映を実施します。“変わってもなくなってしまったことは事実だから”——2019年夏の下北沢の風景を、北沢タウンホールの大スクリーンで。



今泉力哉(脚本・監督)



©「街の上で」フィルムパートナーズ

アニメーション 野外上映会

鑑賞 無料

9/18(土) 18:00~20:00
@下北線路街 空き地

屋外イベントスペース「下北線路街 空き地」にて行うアニメーション上映会。上映作品は、主人公の絵の上で成長にあわせて表現手法を変化させながら、漫画家を目指す男の半生を描いた実験的短編アニメーションで、多くの映画祭を席巻した話題作「日本の絵描き少年」(川尻将由監督/25分)ほか、大ヒットアニメーション映画「音楽」の岩井澤健治監督と川尻監督とのミニトークもあり！

※ラインナップやタイムテーブルは映画祭公式サイトを参照 ※小雨決行・雨天中止



- 1 北沢タウンホール(世田谷区北沢2-8-18)
- 2 下北沢トリウッド(世田谷区代沢5-32-5 2F)
- 3 下北線路街 空き地(世田谷区北沢2-33-12)

※登壇ゲストなど、各プログラム内容には変更が生じる場合がございます。予めご了承ください。